国東アート・ミニレジデンス作品展/2026 11/16(月)～11/23(月)10:00～16:00

澤村武山(ぶざん)



1962 年、熊本県八代市生まれ
1987 年、武蔵野美術大学油画学科卒業。主に、日常的な風景を描く。生の感覚を重要視し、現場での制作を継続している。個展を中心に県内外で発表。
2026 年 11 月 8 日～21 日　Paradaise:Lost &Found-楽園の追憶
～日韓現代美術交流展～　STUDIO KAN（京都市右京区梅津後藤町 42-3）

牛島智子



牛島智子　1958 年生まれ
八女市在住　美術作家　九州産業大学卒業　高校時代に美術に救われ大学卒業後上京、B ゼミに通う。　熊本市現代美術館にて 11/29 まで「プラカードのために展」開催中。「九州女（くすめ）トライアングルプロジェクト」により「開口国東歩々歩有明耳（かいこうくにさきほほほありあけみみ）」を展示。

Mari(まり)



Food & Tea Practitioner／料理家
別府市在住。管理栄養士としての経験を背景に、食や茶を媒介としたリサーチや場づくりワークショップ、プロジェクトの企画・運営を行う。食と暮らしを手がかりに、人や土地、自然とのつながりを探り日常にある記憶や人々の営みを見つめる作品を制作している。
国東半島芸術文化祭 2025 参加。

東智恵(ひがしともえ)



大分を拠点に活動。2019 年 Bath Spa University 修士課程修了。
東洋的な循環の時間観や自然観を背景に、移ろう気配や繊細な色彩の層として時間の流れを描く。近年はデジタルとアナログの往還を通じ、像の増殖や存在の曖昧さに向き合う。福岡女子大学美術館や由布院アートホールでの個展のほか、大分県立美術館 OPAM、3331 ART FAIR など出展。

月輪健司

(つきのわけんじ)



1984 年京都府生まれ　別府市在住
カナダ、京都での活動を経て 2022 年に別府市へ移住。国東での滞在からインスピレーションを得た作品を制作中。

ゴトウ千香子



1957 年大分市生まれ
1979 年～83 年渡英。
ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ、バイアム・ショウ美術学校で学ぶ。音楽をテーマに制作。2015 年より「戦争レクイエム（B ブリテン作曲）」をテーマに国内外でインスタレーションを行う。　今回は「国東の音」。ワークショップ（小学生対象・非公開）は「Libera Me（私を自由にしてください）」がテーマ。

◆アーティスト・トーク
11/22（日）11 時～12 時
「アーティスト・イン・レジデンスは未来をひらく」お話/ ゴトウ千香子/参加無料

同時開催/江藤哲/未公開作品展

会期中無休・入場無料
会場　/　国東市アートホール（旧国東高双国校舎）　所在地/ 国東市国見町中１３５０
問い合わせ先/ 事務局　国東市国見町伊美２５３４-４　柾木０９０－４０８２－１７９８